
苦痛

佳絵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

苦痛

【コード】

N0466R

【作者名】

佳絵

【あらすじ】

ごめんなさい。貴方たちに報いるにはこれしかできません。

私は絵を描くのが好きだ。
大好きだ。

だから、お父さんとお母さんに土下座して芸術大学へ行かせてもらった。

大好きな絵が描ける、素敵な大学。

けれど、私は四年で大学を卒業することができなかった。

理由は軽鬱。

元々対人関係が苦手な私には、大学での人間関係は苦痛でしかなかった。

今となれば、だから絵に没頭していた、と思う。

みんながみんな、自分の絵が一番上手いと思っていて。

褒めていても心の奥底ではけなしている。

弱点を発見すれば、裏でこそそそ広めて。

そんな人間関係が、私には堪えられなかった。

だから、表面上では仲良くしていても、大学に行くのが怖くなった。

励ましてくれても、みんな本当は私に無関心で、とても怖かった。

だから、大学に行けなくて、単位が足りなくて。

卒業できなくて。

お父さんとお母さんはもう一年頑張つて通つて卒業しなさいって言うてくれた。

でも、私は知っている。

家計が苦しいって。

お金がないって。

弟もまだ大学生で、お姉ちゃんはフリーターで。

お母さんは私の絵を褒めてくれた。

優しくて温かくて大好きだった。

でも、その絵一枚完成させるには安くはないお金がかかって。

絵で食べて生きてかった。

私には絵しかない。

だから絵を　　大学を辞めた人生なんて思い付かない。

大学を辞める勇気はない私。

ずっと絵にしがみついていた私。

そんな臆病な私が家族のためにできることは、これしかない。

低い階だと防犯上危ないから高い階にしてください、とお父さんに言

われて借りたマンションの七階の部屋。

さすがにここから落ちたら、生きながらえて迷惑をかける、なんてことはないよね。

この部屋のベランダから見える私の大学。

私の大好きな絵を教えてくれる、私の大嫌いな大学。

お父さん、お母さん、ごめんなさい。

絵しかない私でごめんなさい。

大学を辞める勇気がなくてごめんなさい。

金食い虫でごめんなさい。

心を病んでごめんなさい。

これは、そんな私にできる唯一の、最初で最後の親孝行。

空は晴天。

雲一つなく。

いつも通りの騒音、いつも通りの風景。

ごめんなさい。

さようなら。

臆病な私は空を飛んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0466r/>

苦痛

2011年10月7日23時58分発行